

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
世界経済事情Ⅱ	<秋>		ECON1440	木4					

【教員氏名】

モグベル ザファル

【単位数】

2 単位

【授業形態】

『講義』

【講義・演習概要】

この授業の主なテーマは国際貿易、国際金融、外国為替市場に係る諸制度です。世界経済でいま何が起っているのか。また、経済の現状を見つめるとき、世界の国々とその国民は何に期待を掛け、何を脅威と受け止めているのか。「世界経済事情Ⅱ」では、このような視点に立って「世界経済入門」の講義を行い、これらの分野に関連するトピックスを取り上げて分かりやすく説明します。できるだけタイムリーな、そして受講生が関心を持てるようなトピックスを選ぶことを目指します。なお、トピックスの内容や順序は、世界情勢の展開により変わることがあります。

【学習（到達）目標】

世界経済の仕組みと今日のトピックスについて分かりやすく解説することがこの講義の趣旨です。受講生は、新聞の国際経済記事を興味をもって読み、自分なりの理解と意見を持つことができるようになります。さらに、受講生は、世界経済に置ける貿易、海外投資、国際金融、為替市場などに関わる精度的な枠組みやルールについて理解を深め、自分の考えを述べるできるようになります。

【講義・演習計画】

- 第1回：戦後世界経済のルールとその起源： 「近隣窮乏政策」の負の遺産とその封じ込め
- 第2回：GATT/WTO体制と国際貿易
- 第3回：GATT/WTO体制の3大原則
- 第4回：自由貿易に向けて： 数量規制・関税・非関税障壁の軽減
- 第5回：GATT/WTO体制におけるさまざまな例外措置：
特恵関税と地域統合を中心に
- 第6回：多角的貿易交渉の過去と現在
- 第7回：日本のFTA戦略： TPP交渉と加盟をめぐる
- 第8回：東アジア地域統合と日本の対応
- 第9回：IMFの組織と仕組み
- 第10回：金融危機とIMFのコンディショナリティー
- 第11回：外国為替事情の仕組み
- 第12回：変動相場制のもとで日本円が歩んできた道・前半
- 第13回：変動相場制のもとで日本円が歩んできた道・後半
- 第14回：経済グローバル化の光と影
- 第15回：経済グローバル化と日本の対応

【成績評価の方法】

試験評価：90% その他：10%

- ① 学期末試験において、国際収支論、日本の貿易構造、経済グローバル化などの達成目標に対応するテーマに関する選択式問題と論述問題を出願します。答案の正解率と論述問題に対して論理的に述べているかに重点をおいて評価します。
- ② 授業への積極的な参加について評価します。具体的には、授業中に行う2～3回の練習問題の結果で評価します。

【参考文献】

テキストの代わりに、資料をほとんど毎回配布するので、配布資料の責任ある管理を期待する。

【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】

- 1. 経済学の基礎を復習しておくこと。
- 2. 配布資料を正しく管理し、その内容について予習・復習を行うこと。
- 3. 新聞の、国際経済関連の記事を継続的に読み、世界経済の現状をできるだけリアルタイムで追うこと。